

県の環境学習等に関する取組状況について

1 県における環境学習等に関する施策の概要

平成24年度における環境学習等に関する施策の実績をとりまとめました。

総事業数	【参考】平成25年度実施予定
10部局34課室等	総事業数
101事業	10部局34課室等
	104事業

2 体系別内訳

施策の柱	県が実施した主な施策	H24 事業数
1 社会における 環境学習の推 進	(1)県民	38
	自然体験学習等の推進	17
	水に関する学習の推進	6
	地球温暖化に関する学習の推進	9
	資源循環や廃棄物に関する学習の推進	3
	買い物や食に関する学習の推進	3
	(2)事業者	3
	社員に対する研修等の促進	1
	環境マネジメントシステムに関する情報の提供と適切な運用	1
	事業者が持つ専門性等を活かした環境学習の促進	1
	(3)NPO	17
	環境学習等を実施する団体に対する支援の推進	2
	多様な主体の連携・協働による環境学習等の推進	15
	(4)行政	49
	環境学習に関する行動計画の策定及び推進	1
	環境学習推進のための拠点となる施設の運用	5
	環境及び環境学習に関する情報の提供	10
	環境学習等を実施する市町村や各主体への支援	9
	県内環境学習施設の連携の充実	1
	環境学習指導者やコーディネーターの育成	11
自然体験活動等の体験の機会の場の認定と周知	1	
環境学習の充実	6	
環境マネジメントシステムの推進と職員に対する環境学習等の推進	5	

施策の柱	県が実施した主な施策	H24 事業数
2 学校等による 環境学習の推 進	(1)幼稚園等・小学校低学年	3
	自然とふれあう学習の推進	3
	(2)小学校高学年・中学校	15
	自然体験学習等の推進	3
	地球温暖化に関する学習の推進	2
	水に関する学習の推進	5
	資源循環や廃棄物に関する学習の推進	2
	買い物や食に関する学習の推進	1
	多様な主体と連携・協働した環境教育の推進	1
	環境学習教材の提供	1
	(3)高等学校	3
	再生可能エネルギー等に関する学習の推進	1
	自然科学等に関する学習の推進	1
	自然科学や環境に関するコース等における学習の推進	1
	(4)大学	3
	大学と連携・協働した環境保全活動の推進	2
	大学と小中学校・高等学校等の連携・協働の促進	1
	(5)学校全体	17
	環境における安全・安心教育の推進	2
	環境教育に関わる教員の養成	4
特色ある学校づくりの推進	4	
環境教育等に対する財政的な支援	2	
表彰・コンクール等による支援	4	
学校等におけるESDの導入	1	
3 連携・協働の 強化	(1)協働取組のガイドラインづくり	6
	協働のガイドラインづくり	2
	各主体間の協働取組の促進	2
	行政間の連携強化	1
	県内部の連携強化	1
	(2)連携・協働機能の充実	6
	ア 情報提供機能の充実	3
	「あいち環境学習情報ライブラリー」等の充実	
	イ 調整機能の充実	1
	環境学習のコーディネーターの設置等	
ウ 交流の場の充実	2	
「愛知県環境教育等推進協議会」の開催等		
延べ事業数		160
実事業数		101

\* 複数の体系に該当する事業及び複数の課室等が所管する事業がある。

# 環境学習等の具体的な取組実施一覧表

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等
1 社会における環境学習の推進	(1) 県民	自然体験学習等の推進	もりの体験教室の実施	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施した。(参加者数 4,767名)	環境部 環境活動推進課
			もりの学舎キッズクラブ等の運営	H20	継続中	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。(平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施した。(平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	環境部 環境活動推進課
			三河湾里海再生推進事業(干潟の生きもの観察会)	H22	継続中	実際に県民が三河湾の干潟や浅場でその機能や生息生物について学習することにより、三河湾の里海再生に関する関心を高める。(H24年度 2回、115名の参加)	実際に県民が三河湾の干潟や浅場でその機能や生息生物について学習することにより、三河湾の里海再生に関する関心を高めた。(H24年度 2回、115名の参加)	環境部 水地盤環境課
			生物多様性セミナー	H23	継続中	県民の身近な自然に対する関心を喚起し、具体的な行動へと誘導していくため、生物多様性保全に関する地域に根ざした普及啓発するため東三河総局、振興事務所、県民事務所、県民センター(計6箇所)ごとに、その地域ならではの自然環境を活用した体験型セミナーをNPO等との協働のもとに開催する。	県民の身近な自然に対する関心を喚起し、具体的な行動へと誘導していくため、生物多様性保全に関する地域に根ざした普及啓発するため東三河総局、振興事務所、県民事務所、県民センター(計6箇所)ごとに、その地域ならではの自然環境を活用した体験型セミナーをNPO等との協働のもとに開催した。	環境部 自然環境課
			あいち海上の森保全活用事業	H18	継続中	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	「森の教室」、「里の教室」、「調査学習会」、「森の楽校」を実施し、1,290名が参加した。	農林水産部 森林保全課
			農業農村整備事業の必要性・効果のPR活動	H14	継続中	農業農村整備事業の必要性や効果(多面的機能など)を広く県民にPRするため、小学生を対象とした水田や水路を遊びと学びの場として活用する環境教育や明治用水の緑道を利用したウォーキング大会などのイベントや取組に参加し、パンフレットの配布や啓発パネルの展示などを実施。	農業農村整備事業の必要性や効果(多面的機能など)を広く県民にPRするため、小学生を対象とした水田や水路を遊びと学びの場として活用する環境教育や明治用水の緑道を利用したウォーキング大会などのイベントや取組に参加し、パンフレットの配布や啓発パネルの展示などを実施した。(平成24年度 31件 参加者数 41,300名)	農林水産部 農地計画課
			森と緑づくり体感ツアーの実施	H20	継続中	主に都市部の県民を対象に、間伐体験等を通じて、森や緑の大切さや役割などを理解するためのバスツアーを実施する。	11月17日(土)に都市緑化、環境活動、人工林整備事業の実施地をめぐる見学コースを実施し、18日(日)に間伐作業を行う体験コースを実施したところ、あわせて63名の参加者があった。	農林水産部 森林保全課 森と緑づくり推進室
			自然観察会の実施	H17	継続中	愛知県森林公園及び愛知県民の森の指定管理者が、「自然ウォッチング」「野の花めぐり」「ゲンジボタル観察会」などを実施する。	「自然ウォッチング」「野の花めぐり」「ゲンジボタル観察会」等の自然観察会を実施した。(森林公園:実施21回・参加者1,557名、県民の森:実施2回・参加者23名)	農林水産部 林務課 (指定管理者)
			自然観察会の実施	H17	継続中	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施する。	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施した。	建設部 公園緑地課 (指定管理者)
			水辺の緑の回廊整備事業	H19	継続中	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施する。	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施した。	建設部 河川課
			自然観察会等の実施	-	継続中	愛知こどもの国及び海南こどもの国の指定管理者が、自然を楽しむ会の実施や園内の樹木等を利用した工作の体験会を実施する。	愛知こどもの国及び海南こどもの国の指定管理者が、自然を楽しむ会の実施や園内の樹木等を利用した工作の体験会を実施した。(平成24年度 26行事)	健康福祉部 子育て支援課 (指定管理者)
			探鳥会・観察指導	H17	継続中	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する。	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する探鳥会を実施した。(平成24年度20回、参加者数370人)	環境部 自然環境課
			全国自然歩道歩こう大会	H17	継続中	環境省の主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」(毎年10月)に合わせて、昭和57年から各市町村にも呼びかけ、東海自然歩道で自然とふれあえるイベントを開催する。	環境省の主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」(毎年10月)に合わせて、昭和57年から各市町村にも呼びかけ、東海自然歩道で自然とふれあえるイベントを開催した。	環境部 自然環境課
			農地・水保全管理支払事業(推進事務事業費)	H20	継続中	本県における農地・水保全管理活動の一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰する。	本県における農地・水保全管理活動の一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰した。(平成24年度 H24.12.15 参加者数 約550名)	農林水産部 農地計画課
			県有林野利活用事業の実施	H17	継続中	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。	県有林内において、地方公共団体やNPO等の団体が、森林・林業体験などの学習活動を実施した。(団体数14団体、実施249回、参加者4,583名)	農林水産部 林務課
少年水産教室	-	継続中	知多地区の漁業士や水産業普及指導員らが講師となり、地引網漁業を体験したり、ロープワークと魚の名前を学習し、地元の中学生など若い世代に水産業への関心を高めてもらう。	知多・三河地区の漁業士や水産業普及指導員らが講師となり、地引網漁業を体験したり、ロープワークと魚の名前を学習した。(平成24年度 2回、受講者数29人)	農林水産部 水産課			
地域食育推進事業費補助金	H23	継続中	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課			

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等	
	水に関する学習の推進		あいち環境学習プラザにおける環境学習講座	H17	継続中	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課	
			油ヶ淵水環境モニタリング	H17	継続中	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握した。(H24年度 22グループ、合計61地点)	環境部 水地盤環境課	
			流域モニタリング一斉調査	H21	継続中	人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解してもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成19年7月作成)を活用し、川やため池等の身近な水環境の水質調査等を実施する。 (H24年度 141団体、1002名の参加)	人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解してもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成19年7月作成)を活用し、川やため池等の身近な水環境の水質調査等を実施した。 (H24年度 141団体、1002名の参加)	環境部 水地盤環境課	
			水質パトロール隊事業	H10	継続中	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。 (H24年度 55グループ1,539名の参加)	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰した。 (H24年度 55グループ1,539名の参加)	環境部 水地盤環境課	
			愛知県下水道科学館の運営	H12	継続中	愛知県下水道科学館においては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく、水循環や水環境など学習の場を提供する。入場者数 平成23年度 71,771人	愛知県下水道科学館においては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく、水循環や水環境など学習の場を提供した。入場者数 平成24年度 75,107人	建設部 下水道課	
			あいちの農業用水展	H13	継続中	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等をパネル展示等により紹介する。	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等をパネル展示等により紹介した。(平成24年度 H24.7.13～8.8 見学者数 約13,700名)	農林水産部 農地計画課	
	地球温暖化に関する学習の推進			あいち環境学習プラザにおける環境学習講座(再掲)	H17	継続中	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課
				「ストップ温暖化教室」開催事業	H19	継続中	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向けた教室を開催する。	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向けた教室を開催した。 (H24年度 高学年63校5,095名、中学年67校5,221名)	環境部 地球温暖化対策室
				ブース出展事業費	H20	継続中	市町村のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いてエコライフの実践に関する普及啓発を行う。	17市町のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いてエコライフの実践に関する普及啓発を行った。	環境部 地球温暖化対策室
				新エネルギー実証研究推進事業(新エネルギー教室開催費)	H21	継続中	あいち臨空新エネルギー実証研究エリアで、小中学生をはじめとした多くの県民に新エネルギーについて理解を深めるため、「新エネルギー教室」を開催する。	新エネルギー教室の開催(平成24年度 5回 226名)	産業労働部 産業科学技術課
				新エネルギー産業社会推進パイロット事業	H22	継続中	新エネルギー関連分野における技術課題等の解決および事業化の可能性を探る研究会活動の推進や、燃料電池自動車(FCV)の普及に向けたセミナーの開催などを実施する。	・課題別研究会の実施(燃料電池:3回、太陽光発電利活用:3回、二次電池:2回、熱エネルギー:1回) ・FCVセミナー及び試乗会の実施(平成24年度 4回 983名)	産業労働部 産業科学技術課
				次世代自動車普及促進事業	H21	継続中	低炭素社会づくりの推進のため、自動車から排出されるCO2の削減効果が高いEV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)の普及を目指す「EV・PHVタウン」モデル事業において試乗会・展示会等を開催し、普及啓発を図る。	県主催イベント等において、EV・PHVの試乗会・展示会及び充電設備の展示会を実施し、普及啓発を図った。	環境部 地球温暖化対策室
				低公害自動車導入費(一部)	H17	継続中	燃料電池自動車等を活用し、大気環境の改善についての啓発活動を実施する。 (H25年度 燃料電池自動車1台、プラグインハイブリッド自動車2台)	市町村が主催するイベント等において、車両展示により啓発活動を実施した。	環境部 地球温暖化対策室
				あいちエコ モビリティライフ推進事業	H20	継続中	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、「県民の集い」の開催や県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行う。	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、「県民の集い」の開催や県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行った。 (平成24年度 県民の集い1回開催、出前講座7回開催、エコモビ体験隊15回実施、市町村等連携実践促進事業17日実施、普及啓発活動51日実施、推進表彰実施など)	地域振興部 交通対策課
				高度道路交通システム推進費(一部)	H10	継続中	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行う。	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行った。 (平成24年度 県民フォーラム1回開催、親子見学会2日開催、大学セミナー25回開催など)	地域振興部 交通対策課
				資源循環や廃棄物に関する学習の推進			あいち環境学習プラザにおける環境学習講座(再掲)	H17	継続中
	下水処理場見学の受入	H17	継続中				小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れた。 総見学者数 平成24年度13,252人	建設部 下水道課
	ゴミキチ・パッコ劇場	H17	継続中				インターネットを使ってゲームで遊びながら、資源循環について学ぶホームページ。(アクセス件数 2,000/月)	インターネットを使ってゲームで遊びながら、資源循環について学ぶホームページ。(アクセス件数 2,000件/月)	環境部 資源循環推進課

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等		
		買い物や食に関する学習の推進	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	H17	継続中	岐阜県、三重県、名古屋市の事業者と協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消・季節季消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図る。	岐阜県、三重県、名古屋市の事業者と協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消・季節季消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図った。実績：H25.1.26及び27にショッピングモールにてエコ博を開催	環境部 環境活動推進課		
			地産地消推進事業費	H17	継続中	地産地消を推進する「いいともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、協働活動ネットワークの促進、情報発信等を行う。 また、地産地消を推進することで輸送にかかるエネルギーの節約、食の安全・安心、地域の活性化等に貢献する。	地産地消を推進する「いいともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、協働活動ネットワークの促進、情報発信等を行った。 また、地産地消を推進することで輸送にかかるエネルギーの節約、食の安全・安心、地域の活性化等に貢献した。(推進協議会2回開催、会員数1135団体、ネットワーク会報12回発行、いいともあいち推進店898店舗)	農林水産部 食育推進課		
			あいち海の恵み普及啓発事業	H24	H26	1 あいちの四季の魚啓発事業 選定された四季の魚を対象とした、パンフレット、啓発資材を作成し、県や水産業界が関係するイベント等で啓発・広報を進めることでCO2削減等に貢献する地産地消を目指す。 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、県が認定した漁業士や県職員によるあいちの水産物および水産業の出前授業を行い、海の恵みと海の大切さを知ってもらう。	1 あいちの四季の魚啓発事業 選定された四季の魚を対象とした、パンフレット、啓発資材を作成し、県や水産業界が関係するイベント等で啓発・広報を進めた。(平成24年度 パンフレット1万部、ポスター3千部等) 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、県が認定した漁業士や県職員によるあいちの水産物および水産業の出前授業を行った。(平成24年度実績 16小学校、1幼稚園、参加者数1,151人)	農林水産部 水産課		
	(2) 事業者		社員に対する研修等の促進	愛知県環境教育等推進協議会の開催	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進ため、目標設定や進捗管理等を行うとともに、構成員である各主体に対し、環境学習の推進等を要請する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催した後、愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課	
				環境マネジメントシステムに関する情報の提供と適切な運用	環境マネジメント普及促進セミナーの開催(環境マネジメント推進事業の一部)	H22	継続中	エコアクション21の概要を紹介し、中小企業の自主的な環境配慮の取組を促進する。	エコアクション21の概要を紹介し、中小企業の自主的な環境配慮の取組を促進した。実績：H24.8.25に環境マネジメントシステム普及促進セミナーを開催	環境部 環境活動推進課
				事業者が持つ専門性等を活かした環境学習の促進	愛知県環境教育等推進協議会の開催(再掲)	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進ため、目標設定や進捗管理等を行うとともに、構成員である各主体に対し、環境学習の推進等を要請する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催し、愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課
				環境学習コーディネーターの設置	H25	継続中	事業者、NPO、行政、学校等が連携、協働して環境学習に取り組めるよう、環境学習に関する相談や各主体間の調整を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置するとともに、新たなコーディネーターを育成する。	—	環境部 環境活動推進課	
	(3) NPO	環境学習等を実施する団体に対する支援の推進	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	H21	継続中	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催する。	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催した。交付事業実績：95件	環境部 環境活動推進課		
			地域食育推進事業費補助金(再掲)	H23	継続中	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課		
			多様な主体の連携・協働による環境学習等の推進	もりの体験教室の実施(再掲)	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを企業等とタイアップして実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施した。(参加者数 4,767名)	環境部 環境活動推進課	
油ヶ淵水環境モニタリング(再掲)		H17	継続中	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループにより、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握した。(22グループ、合計61地点)	環境部 水地盤環境課				
水循環再生地域協議会の開催		H19	継続中	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携、協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行う。	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携、協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行った。	環境部 水地盤環境課				
三河湾環境再生啓発事業		H24	継続中	三河湾の環境再生に向けて、行動計画策定委員会を設置し検討を行うとともに、県民の意見を聴くワークショップを開催して、様々な立場の主体が側面からも事業推進に協力・支援する具体的な行動計画を策定する。また、県内NPO等が滋賀県内のイベントに参加し交流する。	三河湾の環境再生に向けて、行動計画策定委員会を設置し検討を行うとともに、県民の意見を聴くワークショップを開催して、様々な立場の主体が側面からも事業推進に協力・支援する具体的な行動計画を策定する。また、県内NPO等が滋賀県内のイベントに参加し交流した。	環境部 水地盤環境課				
新しい公共支援事業知多半島臨海部の企業緑地における生態系ネットワーク形成担い手育成事業		H23	継続中	1 知多半島臨海企業緑地において、生態系を再生・創造する。 2 活動をさらに発展、継続する仕組みを作るため、その担い手となる次世代の育成を図る。 3 公開や情報発信によって、企業緑地の生態系を公共の財産(コモンズ)として意地・発展させる。このため、啓発ツールやイベントを企画し、価値を共有する。	1 知多半島臨海企業緑地において、生態系を再生・創造した。 2 活動をさらに発展、継続する仕組みを作るため、その担い手となる次世代の育成を図った。 3 公開や情報発信によって、企業緑地の生態系を公共の財産(コモンズ)として意地・発展させる。このため、啓発ツールやイベントを企画し、価値を共有した。	環境部 自然環境課				

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等
			ごみゼロ社会推進あいち県民会議	H5	継続中	県民、事業者、行政が一体となってごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行う。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等110団体(平成25年4月現在)で構成) ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民フォーラム(仮称)の開催、レジ袋削減取組店制度の運用	県民、事業者、行政が一体となってごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行った。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等110団体(平成25年3月末現在)で構成) ○啓発事業 ・11月1日、2日に愛知県産業労働センター(ウインクあいち)において、ごみゼロ社会推進あいち県民大会を開催 ・レジ袋削減取組店制度の運用、優良店16店を表彰	環境部 資源循環推進課
			こどもエコクラブ支援	H17	継続中	県内のこどもエコクラブの交流のための体験学習の機会を提供する。	県内のこどもエコクラブの交流のための体験学習の機会を提供した。	環境部 環境活動推進課
			油ヶ淵水辺公園整備事業	H19	継続中	平成19年度から行っているワークショップで出された意見を基に、「水辺の学習館」を拠点とし、水辺の多様な生態系等を学習できる施設を整備するなど、県民協働型の公園づくりを進める。	平成19年度から行っているワークショップで出された意見を基に、「水辺の学習館」を拠点とし、水辺の多様な生態系等を学習できる施設を整備するなど、県民協働型の公園づくりを進めた。	建設部 公園緑地課
			県民参加緑づくりの支援	H21	継続中	市町村が公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ピオトープづくりなどの緑づくり活動や体験学習を実施する事業及びこれを市民団体が実施する場合の支援事業。また、市町村が緑の活動を実施する市民団体を育成するため、市民団体等の活動に講師の派遣等をする。	市町村が公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ピオトープづくりなどの緑づくり活動や体験学習を実施する事業及びこれを市民団体が実施する場合の支援事業。また、市町村が緑の活動を実施する市民団体を育成するため、市民団体等の活動に講師の派遣等をした。県民参加者数:58000人	建設部 公園緑地課
			森と緑づくり体感ツアーの実施 (再掲)	H20	継続中	主に都市部の県民を対象に、間伐体験等を通じて、森や緑の大切さや役割などを理解するためのバスツアーを実施する。	11月17日(土)に都市緑化、環境活動、人工林整備事業の実施地をめぐる見学コースを実施し、18日(日)に間伐作業を行う体験コースを実施したところ、あわせて63名の参加者があった。	農林水産部 森林保全課 森と緑づくり推進室
			あいち海上の森保全活用事業 (再掲)	H18	継続中	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や、森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	「森の教室」、「里の教室」、「調査学習会」、「森の楽校」を実施し、1,290名が参加した。	農林水産部 森林保全課
			県有林における「企業の森づくり」事業の実施	H18	継続中	県内の約3,000ヘクタールの県有林を対象とし、企業が社会貢献活動として行う森林整備を県有林で受け入れる事業を実施する。	県有林内において、企業が社会貢献活動として行う森林整備を受け入れる事業を実施した。(55.1ヘクタール、活動企業数15社、参加者1,269名)	農林水産部 林務課
			県有林野利活用事業の実施 (再掲)	H17	継続中	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。	県有林内において、地方公共団体やNPO等の団体が、森林・林業体験などの学習活動を実施した。(団体数14団体、実施249回、参加者4,583名)	農林水産部 林務課
			「子どもの水辺」再発見プロジェクト	H17	継続中	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進する。	参加者を募集したが応募がなかった。	建設部 河川課
			伊勢湾総合対策協議会	S45	継続中	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的として、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市長が、相互に連携協力を緊密にし、広域な調査研究や連絡協議、啓発活動を行う。ただし、個別の事業は各部署が担当している。 (主な活動内容) ○政策提言活動、NPOの取組支援 ○海岸漂着物対策検討会の開催 ○環境問題研究会の開催	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的として、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市長が、相互に連携協力を緊密にし、広域な調査研究や連絡協議、啓発活動を行う。ただし、個別の事業は各部署が担当している。 (主な活動内容) ○政策提言活動、NPOの取組支援 ○海岸漂着物対策検討会の開催 ○環境問題研究会の開催	知事政策局 企画課
(4) 行政	①	環境学習に関する行動計画の策定及び推進	愛知県環境教育等推進協議会の開催 (再掲)	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進のため、目標設定や進捗管理等を行うとともに、構成員である各主体に対し、環境学習の推進等を要請する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催し、愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課
	②	環境学習推進のための拠点となる施設の運用	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座 (再掲)	H17	継続中	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課
			あいち環境学習プラザにおける展示等	H19	継続中	あいち環境学習プラザの展示コーナーにおいて様々な環境に関する各種資料を展示するとともに、交流コーナーにおいて環境書籍等の閲覧・貸出を行い、情報提供をする。	あいち環境学習プラザの展示コーナーにおいて様々な環境に関する各種資料を展示するとともに、交流コーナーにおいて環境書籍等の閲覧・貸出を行い、情報提供を行った。	環境部 環境活動推進課
			もりの体験教室の実施 (再掲)	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施した。(参加者数 4,767名)	環境部 環境活動推進課
			もりの学舎キッズクラブ等の運営 (再掲)	H20	継続中	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。 (平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施した。 (平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	環境部 環境活動推進課
			インタープリタースキルアップ研修	H20	継続中	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図った。	環境部 環境活動推進課

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課等
	環境及び環境学習に関する情報の提供	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	S46	継続中	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらまし」を作成、配布。 (平成24年度 環境白書1,000部、愛知の環境のあらまし1,500部)	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらまし」を作成、配布した。 (平成24年度 環境白書1,000部、愛知の環境のあらまし2,000部作成)	環境部 環境政策課
			油ヶ淵電子図書館	H17	継続中	県や市民グループ等による油ヶ淵水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。	県や市民グループ等による油ヶ淵水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信した。	環境部 水地盤環境課
			レッドデータブックあいち2009による情報提供	H21	継続中	レッドデータブックあいち2009(第2次レッドデータブックあいち)を冊子やインターネットで情報提供を行う。	レッドデータブックあいち2009(第2次レッドデータブックあいち)を冊子やインターネットで情報提供を行った。	環境部 自然環境課
			移入種対策ハンドブックによる情報提供	H23	継続中	県内で確認されている移入種の分布域を掲載したリスト及び、代表的な移入種について種の概要、生態系に及ぼす影響、対策事例などをまとめた移入種対策に資する冊子を配布すると共に、インターネットで情報提供する。	県内で確認されている移入種の分布域を掲載したリスト及び、代表的な移入種の生態、生態系に及ぼす影響、対策事例などをまとめた移入種対策ハンドブックについて、インターネットで幅広く情報提供した。	環境部 自然環境課
			あいち環境学習情報ライブラリーの運用	H18	継続中	環境学習、人材及び活動の場、NPO団体に関する情報を収集し、あいち環境学習情報ライブラリーを充実させ、それを活用して広く県民に発信する。	環境学習、人材及び活動の場、NPO団体に関する情報を収集し、あいち環境学習情報ライブラリーを充実させ、それを活用して広く県民に発信した。	環境部 環境活動推進課
			環境情報システム	H17	継続中	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信する。	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信した。	環境部 環境活動推進課
			環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト	H22	継続中	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介する	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介した。 (「環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト」への登録数:168社)	環境部 環境政策課
			あいち環境学習プラザにおける展示等(再掲)	H19	継続中	あいち環境学習プラザの展示コーナーにおいて様々な環境に関する各種資料を展示するとともに、交流コーナーにおいて環境書籍等の閲覧・貸出を行い、情報提供をする。	あいち環境学習プラザの展示コーナーにおいて様々な環境に関する各種資料を展示するとともに、交流コーナーにおいて環境書籍等の閲覧・貸出を行い、情報提供を行った。	環境部 環境活動推進課
			交流ネットワーク推進事業	H17	継続中	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供する。	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供した。(平成24年度 モデルルート数57)	農林水産部 農業振興課
			生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営	H17	継続中	あいち環境学習情報ライブラリーと連携・協力し、生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。	公開講座やイベントなど県民の学習(環境学習を含む)に関わる様々な情報の提供を行った。	教育委員会 生涯学習課
	環境学習等を実施する市町村や各主体への支援 環境学習教材やプログラムの提供等  表彰・コンクール等による支援	環境学習プログラムの開発・提供	環境学習プログラムの開発・提供	H17	継続中	環境学習指導者が環境学習の指導を実施する際に利用できるあいち環境学習ハンドブックの提供。 (平成17年度 これから環境学習の指導を始めようとしている人向け 平成18年度 環境学習の指導経験が豊富な人向け 平成19年度以降は、開発されたプログラムの情報提供)	環境学習指導者が環境学習の指導を実施する際に利用できるあいち環境学習ハンドブックの提供。 (平成17年度 これから環境学習の指導を始めようとしている人向け 平成18年度 環境学習の指導経験が豊富な人向け 平成19年度以降は、開発されたプログラムの情報提供)	環境部 環境活動推進課
			幼児への環境学習推進事業	H19	継続中	環境絵本等の貸出を実施する。	環境絵本等の貸出を実施した。	環境部 環境活動推進課
			環境月間県民のつどいの開催	S48	継続中	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行うとともに、環境をテーマとした講演を行う。	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行うとともに、環境をテーマとした講演を行った。	環境部 環境活動推進課
			野生生物保護実績発表大会	S46	継続中	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、競い合う。	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、競い合った。	環境部 自然環境課
			あいち緑のカーテンコンテスト	H21	継続中	県内に設置されている「緑のカーテン」の優秀事例を表彰し、広く紹介する。	県内に設置されている「緑のカーテン」の優秀事例を表彰し、広く紹介した。 (H24年度 170事例の応募)	環境部 地球温暖化対策室
			愛知環境賞	H18	継続中	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進する。	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進した。(応募40件、金賞1件、銀賞2件、銅賞1件始め13件表彰)	環境部 資源循環推進課
			水質パトロール隊事業(再掲)	H10	継続中	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらう。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。 (H24年度 55グループ1, 539名の参加)	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰した。 (H24年度 55グループ1, 539名の参加)	環境部 水地盤環境課

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等	
		環境学習等を実施する団体や市町村に対する財政的支援 (再掲)	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 (再掲)	H21	継続中	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催する。	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催した。 交付事業実績：95件	環境部 環境活動推進課	
			地域食育推進事業費補助金 (再掲)	H23	継続中	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課	
		県内環境学習施設の連携の充実	愛知県環境学習施設等連絡協議会	H18	継続中	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(平成19年度設置)において、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(平成19年度設置)において、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化した。	環境部 環境活動推進課	
		環境学習指導者やコーディネーターの育成 環境学習指導者の育成	あいち環境塾	H20	継続中	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生どうしの討論などを実施する。	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生どうしの討論などを実施した。(延べ14日間開催、18名が卒業)	環境部 資源循環推進課	
			もりの体験教室の実施 (再掲)	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でオリジナル環境学習プログラム「もりの体験教室」を行うためのインタープリターを養成する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でオリジナル環境学習プログラム「もりの体験教室」を行うためのインタープリターを養成した。	環境部 環境活動推進課	
			インタープリタースキルアップ研修 (再掲)	H20	継続中	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	環境部 環境活動推進課	
			地球温暖化防止活動推進員の研修	H16	継続中	新規の推進員に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等の研修を行う。	新規の推進員28名に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等の研修を行った。	環境部 地球温暖化対策室	
			自然観察指導員講習会(研修会)の開催	H17	継続中	自然観察会を通じて自然環境の保全に対する考え方を普及するため、自然保護の基本的な考え方を身につけたボランティア指導員を養成するための「自然観察指導員講習会」及び専門性の高い内容で行う「自然観察指導員フォローアップ研修会」を1年ごと交互に開催する。	自然観察会を通じて自然環境の保全に対する考え方を普及するため、自然保護の基本的な考え方を身につけたボランティア指導員の養成を目的として、専門性の高い内容で行う「自然観察指導員フォローアップ研修会」を開催した。(平成24年度 受講者数:21名)	環境部 自然環境課 環境調査センター	
			あいち海上の森保全活用事業里山保全人材育成推進費	H19	H28	愛知万博の理念や成果を継承するため、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに関して国内始め世界各地で活躍できる理解者、実践者、指導者を養成する「あいち海上の森大学」を開校するとともに、「人と自然の共生国際フォーラム」を開催する。	「あいち海上の森大学」を開校し、24名の修了生に修了証を交付した。また、「人と自然の共生国際フォーラム」を開催し、約500名の参加者があった。	農林水産部 森林保全課	
			食生活改善推進員の再教育	H17	継続中	住民参加型の地域ボランティアである食生活改善推進員の活動を支援するための研修会を開催する。	食生活改善推進員指導者養成研修会の開催 5回(125人)	健康福祉部 健康対策課	
			食育推進ボランティアの育成	H17	継続中	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアを育成する。	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアを育成した。(平成24年度 ボランティア人数764人)	農林水産部 食育推進課	
			林業普及指導事業	H17	継続中	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施する。	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施した。(団体数12団体、実施12回、参加者338名)	農林水産部 林務課	
			愛知県青年講座	—	継続中	地域社会の担い手として、現代的な課題に積極的に取り組む青年を育成することを目的とし、青年団体やボランティア団体における子どもたちの自然体験活動等の指導者としての資質の向上を図る。	人間関係トレーニング、キャンプ活動、体験型環境プログラムなど、実習を伴う講義を実施した。(平成24年度 1泊を含む5日間開催、修了者20名)	教育委員会 生涯学習課	
			コーディネーターの育成	環境学習コーディネーターの設置 (再掲)	H25	継続中	事業者、NPO、行政、学校等が連携、協働して環境学習に取り組めるよう、環境学習に関する相談や各主体間の調整を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置するとともに、新たなコーディネーターを育成する。	—	環境部 環境活動推進課
				生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座	H20	継続中	ボランティアコーディネーターに関する知識・技術を習得したコーディネーターの育成をすることで、環境学習等の活動を促進する。	ボランティアコーディネーターの活動についての講義、体験発表のほか、人間関係づくりに関わるワークショップを行った。(平成24年度 3日間開催、参加者数36名)	教育委員会 生涯学習課
			自然体験活動等の体験の機会の場の認定と周知	体験の機会の場の認定制度	H24	継続中	「自然体験活動の場その他の多数の者を対象とするのにふさわしい環境保全の意欲の増進に係る体験の機会の場」を認定し、ホームページ等で周知する。	「自然体験活動の場その他の多数の者を対象とするのにふさわしい環境保全の意欲の増進に係る体験の機会の場」を認定し、ホームページ等で周知した。	環境部 環境活動推進課
		環境学習の充実 実験等を活用した環境学習の推進 (再掲)	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座 (再掲)	H17	継続中	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。(H24年度44回、受講者数1,112名)	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。(44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課	
			もりの体験教室の実施 (再掲)	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施した。(参加者数 4,767名)	環境部 環境活動推進課	
			もりの学舎キッズクラブ等の運営 (再掲)	H20	継続中	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。(平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	もりの学舎において、小・中学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施した。(平成24年度 発見ワンダーコース55名参加、森林部24名参加)	環境部 環境活動推進課	

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等	
		○環境における安全・安心教育の推進	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座 <b>(再掲)</b>	H17	継続中	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課	
			化学物質セミナー	H14	継続中	化学物質による暮らしや健康への影響、身の回りの製品の安全性などについて理解と関心を深めるためのセミナーを開催する。(H17からは県民向けも実施)	化学物質による暮らしや健康への影響、身の回りの製品の安全性などについて理解と関心を深めるためのセミナーを事業者向け、県民向け各1回開催した。(参加者数:事業者向け498名、県民向け119名)	環境部 環境活動推進課	
		⑨環境マネジメントシステムの推進と職員に対する環境学習等の推進	ESDに関するユネスコ世界会議開催支援準備	H23	H26	世界会議の開催に向けて、ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会において、会議支援の準備、ESDの普及啓発・取組促進を行う。また、世界会議開催に併せ、持続可能な社会づくりの担い手である子どもが主体となる「子ども会議」の開催に向けた取組を進める。さらに、県事業として、市町村におけるESD活動の促進のための「市町村職員ESDリーダーセミナー」の開催する。	「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向け、愛知県、名古屋市、地元経済界、教育関係者等からなる「ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会」を設立し、開催支援計画を策定するとともに、開催機運を醸成するための普及啓発、ESDの取組促進を実施した。また、県事業として、尾張地区と三河地区で啓発イベントを実施した。	環境部 環境政策課 ESD会議支援室	
			環境マネジメントシステム推進事業	H17	継続中	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県における事業活動における環境負荷の低減を推進する。	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県における事業活動における環境負荷の低減を推進した。	環境部 環境活動推進課	
			研修所研修	H17	継続中	職員研修において環境に関する講義や資料配布を行い、職員の環境保全に対する理解を深める。	職員研修において環境に関する講義や資料配布を行い、職員の環境保全に対する理解を深めた。(環境部新任職員研修、市町村職員環境基礎研修)	総務部 自治研修所 環境部 環境政策課	
			環境部新任職員研修	H14以前	継続中	新規採用職員や新たに環境部へ配属された職員に対して、本県における環境行政の現状や取組に対する理解を深める。	新規採用職員や新たに環境部へ配属された職員に対して、本県における環境行政の現状や取組に対する理解を深めた。(環境部新任職員研修)	環境部 環境政策課	
	市町村職員環境基礎研修	H14以前	継続中	住民からの苦情への対応、環境測定の知識習得等を目的として、市町村職員研修を実施する。	住民からの苦情への対応、環境測定の知識習得等を目的として、市町村職員研修を実施する。(市町村職員環境基礎研修)	環境部 環境政策課			
	庁舎周辺の清掃活動	H17	継続中	定期的職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施する。	5月30日及び10月4日に職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施した。	環境部 資源循環推進課 環境活動推進課			
	2 学 校 等 に よ る 環 境 学 習 の 推 進	(1) 幼稚園等・小学校 低学年	自然とふれあう学習の推進	もりの体験教室の実施 <b>(再掲)</b>	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施した。	環境部 環境活動推進課
				県民参加緑づくりの支援 <b>(再掲)</b>	H21	継続中	市町村が公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ビオトープづくりなどの緑づくり活動や体験学習を実施する事業及びこれを市民団体が実施する場合の支援事業。また、市町村が緑の活動を実施する市民団体を育成するため、市民団体等の活動に講師の派遣等をする。	市町村が公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ビオトープづくりなどの緑づくり活動や体験学習を実施する事業及びこれを市民団体が実施する場合の支援事業。また、市町村が緑の活動を実施する市民団体を育成するため、市民団体等の活動に講師の派遣等をした。県民参加者数:58000人	建設部 公園緑地課
				地域食育推進事業費補助金 <b>(再掲)</b>	H23	継続中	学校と地域の農家の連携による農業体験学習など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課
		(2) 小学校高学年・中学校	自然体験学習等の推進	もりの体験教室の実施 <b>(再掲)</b>	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施した。	環境部 環境活動推進課
林業普及指導事業 <b>(再掲)</b>				H17	継続中	林業普及指導員が小学校等へ森林環境学習の訪問授業等を実施する。	林業普及指導員が小学校等へ森林環境学習の訪問授業等を実施した。(学校数55校、実施86回、参加者5,044名)	農林水産部 林務課	
地域食育推進事業費補助金 <b>(再掲)</b>				H23	継続中	学校と地域の農家の連携による農業体験学習など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課	
地球温暖化に関する学習の推進				あいち環境学習プラザにおける環境学習講座 <b>(再掲)</b>	H17	継続中	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課
		「ストップ温暖化教室」開催事業 <b>(再掲)</b>	H19	継続中	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向けた教室を開催する。	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向けた教室を開催した。 (H24年度 高学年63校5,095名、中学年67校5,221名)	環境部 地球温暖化対策室		
水に関する学習の推進		あいち環境学習プラザにおける環境学習講座 <b>(再掲)</b>	H17	継続中	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。 (H24年度44回、受講者数1,112名)	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。 (44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課		
		油ヶ淵水環境モニタリング <b>(再掲)</b>	H17	継続中	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やCODバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握した。(22グループ、合計61地点)	環境部 水地盤環境課		



a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等
			水質パトロール隊事業(再掲)	H10	継続中	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰した。(H24年度 55グループ1, 539名の参加)	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰した。(H24年度 55グループ1, 539名の参加)	環境部 水地盤環境課
			親子流域フォーラム	H5	継続中	新川流域、境川流域において親子で河川改修状況、総合治水施設の見学や水に親しむ体験をすることにより河川への理解を深め、総合治水の意義と重要性を認識することを目的とした体験を実施する。	新川流域、境川流域において親子で河川改修状況、総合治水施設の見学により河川への理解を深め、総合治水の意義と重要性を認識することを目的とした体験を実施した。(H24年度 参加人数14名)	建設部 河川課
			愛知県下水道科学館の運営(再掲)	H17	継続中	愛知県下水道科学館においては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく、水循環や水環境など学習の場を提供する。入場者数 平成23年度 71,771人	愛知県下水道科学館においては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく、水循環や水環境など学習の場を提供した。入場者数 平成24年度 75,107人	建設部 下水道課
	資源循環や廃棄物に関する学習の推進		あいち環境学習プラザにおける環境学習講座(再掲)	H17	継続中	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。(H24年度44回、受講者数1,112名)	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。(44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課
			下水処理場見学の受入(再掲)	H17	継続中	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れた。総見学者数 平成24年度13,252人	建設部 下水道課
	買い物や食に関する学習の推進		あいち海の恵み普及啓発事業(再掲)	H24	H26	1 あいちの四季の魚啓発事業 選定された四季の魚を対象とした、パンフレット、啓発資材を作成し、県や水産業界が関係するイベント等で啓発・広報を進めることでCO2削減等に貢献する地産地消を目指す。 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、県が認定した漁業士や県職員によるあいちの水産物および水産業の出前授業を行い、海の恵みと海の大切さを知ってもらう。	1 あいちの四季の魚啓発事業 選定された四季の魚を対象とした、パンフレット、啓発資材を作成し、県や水産業界が関係するイベント等で啓発・広報を進めた。(平成24年度 パンフレット1万部、ポスター3千部等) 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、県が認定した漁業士や県職員によるあいちの水産物および水産業の出前授業を行った。(平成24年度実績 16小学校、1幼稚園、参加者数1,151人)	農林水産部 水産課
	多様な主体と連携・協働した環境教育の推進		もりの体験教室の実施(再掲)	H19	継続中	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを企業等とタイアップして学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施する。	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラムを企業等とタイアップして学校の課外授業等で利用できるよう団体受入を実施した。	環境部 環境活動推進課
	環境学習教材の提供		環境学習副読本の作成・配布	H17	継続中	県内の全小学校4年生を対象に、環境学習副読本を作成、配布する(名古屋市の小学校は各校1冊配付)。(平成24年度 59,000部)	県内の全小学校4年生を対象に、環境学習副読本を作成、配布した(名古屋市立の小学校は除く)。(平成24年度 59,000部)	環境部 環境活動推進課
			環境教育教材の作成	H25	H25	環境学習副読本の内容をより教師が使いやすいものに見直す。	—	環境部 環境活動推進課
	(3) 高等学校		再生可能エネルギー等に関する学習の推進	新エネルギー実証研究推進事業(新エネルギー教室開催費)(再掲)	H22	継続中	将来の本県の新エネルギー関連産業の担い手づくりを目的として、あいち臨空新エネルギー実証研究エリアで実証研究を行っている企業の協力を得て、次代のモノづくりの担い手である県内の工業高校等の生徒を対象に、新エネルギーへの理解や関心を高めるための出前授業を行う。	県内工業高校等の生徒を対象に、新エネルギーへの理解や関心を高めるための出前授業を実施した。(平成24年度 6校 268名)
自然科学等に関する学習の推進			あいち理数教育推進事業	H22	継続中	生徒の自然科学や技術革新への興味関心を高め、あわせて教員の指導力向上を図ることによって、この地域における科学技術教育の一層の発展を目指すものであり、有効である。	生徒の自然科学や技術革新への興味関心を高めるとともに、教員の指導力向上を図ることによって、この地域における科学技術教育の一層の発展を目指すものとして有効であった。(あいち科学技術教育推進協議会、知の探究講座、あいち科学の甲子園を実施)	教育委員会 高等学校教育課
自然科学や環境に関するコース等における学習の推進			県立学校再編整備実施計画	H17	継続中	県立高校の普通科、総合学科、職業科に設置した環境や自然科学に関するコース等において、様々な自然環境への興味・関心を高め、考察する態度を身につけるための授業を実施する。	県立高校の普通科、総合学科、職業科に設置した環境や自然科学に関するコース等において、さまざまな自然環境への興味・関心を高め、考察する態度を身につけるための授業を実施した。	教育委員会 高等学校教育課
(4) 大学		大学と連携・協働した環境保全活動の推進	新しい公共支援事業 大学生による環境の世紀の創造 つなげる教室	H24	継続中	次世代の担い手となる大学生が「環境の世紀」にふさわしい新たなライフスタイルを創造し、持続可能な社会で実現していくために、大学生、大学、企業、NPO等が繋がりを築きながら、学習、実践、発信の活動を展開する。	次世代の担い手となる大学生が「環境の世紀」にふさわしい新たなライフスタイルを創造し、持続可能な社会で実現していくために、大学生、大学、企業、NPO等が繋がりを築きながら、学習、実践、発信の活動を展開した。(企画会議14回、参加学生数33名、フォーラム開催1回)	環境部 自然環境課
			新しい公共支援事業 知多半島臨海部の企業緑地における生態系ネットワーク形成担い手育成事業(再掲)	H23	継続中	1 知多半島臨海企業緑地において、生態系を再生・創造する。 2 活動をさらに発展、継続する仕組みを作るため、その担い手となる次世代の育成を図る。 3 公開や情報発信によって、企業緑地の生態系を公共の財産(コモンズ)として意地・発展させる。このため、啓発ツールやイベントを企画し、価値を共有する。	1 知多半島臨海企業緑地において、生態系を再生・創造した。 2 活動をさらに発展、継続する仕組みを作るため、その担い手となる次世代の育成を図った。 3 公開や情報発信によって、企業緑地の生態系を公共の財産(コモンズ)として意地・発展させる。このため、啓発ツールやイベントを企画し、価値を共有した。	環境部 自然環境課
		大学と小中学校・高等学校等の連携・協働の促進	あいちの学校連携ネット	H23	継続中	大学と県教育委員会が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりするための環境教育を含む取組を推進するためのマッチングサイトを運営する。	大学と県教育委員会が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりするための環境教育を含む取組を推進するためのマッチングサイトを運営した(アクセス件数14,041件)	教育委員会 教育企画室

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課等
(5) 学校全般	環境における安全・安心教育の推進 (再掲)	環境における安全・安心教育の推進 (再掲)	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座	H17	継続中	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施する。(H24年度44回、受講者数1,112名)	学校の授業において、水の汚れ、空気の汚れ、酸性雨、地球温暖化、ごみなどについて実験を交えた環境学習講座を実施した。(44回、受講者数1,112名)	環境部 環境活動推進課
			みずから守るプログラム	H23	H25	水害に無関心な住民層に「気づき」を与え、水害のリスクを「理解」し、避難勧告などの防災情報に接した際に適切に「判断」と「行動」がとれるように、段階的に防災意識等を高める取り組み。そのメニューの一つに児童や生徒を対象として、環境学習等を通じて防災教育を実施して	水害に無関心な住民層に「気づき」を与え、水害のリスクを「理解」し、避難勧告などの防災情報に接した際に適切に「判断」と「行動」がとれるように、段階的に防災意識等を高める取り組み。そのメニューの一つに児童や生徒を対象として、環境学習等を通じて防災教育を実施し	建設部 河川課
		環境教育に関わる教員の養成	公立学校初任者研修	H17	継続中	公立学校初任者研修における社会奉仕体験活動研修や宿泊研修で、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	年間150時間以上の校内研修、年間20日の校外研修(宿泊研修も含む)の中で環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等、実践的指導力を養うとともに幅広い知見を得た。(小・中学校教員受講者1,063人) 公立学校初任者研修における社会奉仕体験活動研修や宿泊研修で、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施した。(高等学校教員)	教育委員会 高等学校教育課 義務教育課 特別支援教育課
			県総合教育センター研修事業	H17、H20～	継続中	県総合教育センターの専門研修において、「海洋環境学習講座」(幼・小・中・高・特対象)を実施する。	県総合教育センターの専門研修において、「海洋環境学習講座」(小・中・高・特対象)を実施した。(1回 受講者数20名)	教育委員会 総合教育センター
			教職員研修費	H17	継続中	環境教育リーダー研修基礎講座(主催:文部科学省・環境省)(1日間)、全国環境学習フェア(主催:文部科学省)(1日間)へ教員等を派遣する。	環境教育等促進法、新学習指導要領を踏まえた環境教育のノウハウを身に付けた。研修を通じてESDの理念や考え方を理解し、ESDに従ったカリキュラムのデザイン力及び実践力を養った。(平成24年度 環境教育リーダー研修基礎講座参加者2人、全国環境学習フェア参加者5人)	教育委員会 高等学校教育課 義務教育課、 特別支援教育課
			学校食育推進者養成講座	H17	継続中	学校における食育推進の中核となる指導者を養成する。	学校における食育推進の中核となる指導者を養成した。(学校食育推進者養成講座8/24開催410人参加)	教育委員会 健康学習課
	特色ある学校づくりの推進	あいち理数教育推進事業 (再掲)	H22	継続中	生徒の自然科学や技術革新への興味関心を高め、あわせて教員の指導力向上を図ることによって、この地域における科学技術教育の一層の発展を目指すものであり、有効である。	生徒の自然科学や技術革新への興味関心を高めるとともに、教員の指導力向上を図ることによって、この地域における科学技術教育の一層の発展を目指すものとして有効であった。(あいち科学技術教育推進協議会、知の探究講座、あいち科学の甲子園を実施)	教育委員会 高等学校教育課	
		県立学校教育活動活性化推進事業(県立学校アクティブチャレンジ事業)	H23	継続中	生徒の学力を向上させるための授業改善、スポーツなどを通して健全な心身を育むための取組、伝統文化や芸術教育を重視する活動、環境保全など地域に根ざした独創的な教育活動など、各学校の意欲的な教育活動を支援し、県立学校全体の活性化を目指す。	生徒の学力を向上させるための授業改善、スポーツなどを通して健全な心身を育むための取組、伝統文化や芸術教育を重視する活動、環境保全など地域に根ざした独創的な教育活動など、各学校の意欲的な教育活動を支援した。(18校の教育活動を支援)	教育委員会 高等学校教育課 特別支援教育課	
		絆を育む学校づくり推進事業	H24	継続中	異世代交流会議(仮称)において、学校(園)と地域が互いに意見を出し合いながら、子どもたちの豊かな心の育成をめざして、環境保全など協働して魅力ある教育活動を計画・実践することを通して、地域に根ざした開かれた学校(園)づくりに努める。	学校(園)と地域が同じテーブルについて話し合い、その会議で出されたアイデアを活動に取り入れていた。具体的には、地域の池や川、通学路の清掃を学校、地域の方が合同で実施した。また、地域の公園や商店街のごみ拾いを地域の方とともに行った。(平成24年度実践校12校園のうち7校で上記の活動を実施)	教育委員会 義務教育課	
		ユネスコスクール支援事業	H24	H26	ユネスコスクール加盟校が地域と協働して行うESD活動に対して助成金を交付するとともに、加盟校の実践事例集を作成し、県内全小・中・高等学校及び特別支援学校等に配付(H25予定)する。	平成24年度は6校に活動助成金を交付するとともに、ユネスコスクール研修会(加盟促進のための説明会)を2回(8/7、8/9)開催した。	教育委員会 生涯学習課	
	④ 環境教育等に対する財政的な支援	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 (再掲)	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 (再掲)	H21	継続中	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催する。	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、取組の成果を県民の皆さんに広く知っていただくための成果報告会を開催した。 交付事業実績:95件	環境部 環境活動推進課
			地域食育推進事業費補助金 (再掲)	H23	継続中	学校と地域の農家の連携による農業体験学習など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成を行う。	団体等が実施する農業体験学習や親子料理教室など、地域の実情に応じた食育活動に対して助成した。(西尾市始め5事業主体)	農林水産部 食育推進課
	表彰・コンクール等による支援	野生生物保護実績発表大会 (再掲)	野生生物保護実績発表大会 (再掲)	S46	継続中	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、競い合う。	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、競い合った。	環境部 自然環境課
			愛鳥週間用ポスターの原画の募集	S46	継続中	財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画募集」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集する。	公益財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画募集」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集した。	環境部 自然環境課
			水質バトロール隊事業 (再掲)	H10	継続中	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。 (H24年度 55グループ1,539名の参加)	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらった。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰した。 (H24年度 55グループ1,539名の参加)	環境部 水地盤環境課
			「中学生水の作文コンクール」の実施	S54	継続中	「水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に国が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰する。	「水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に国が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰した。(平成24年度 応募総数165編、うち8編を県表彰。上位3編を中央(国)審査送付。)	地域振興部 土地水資源課

a. 柱	b. 項目	c. 施策	d. 事業	e. 開始年度	f. 終了年度	g. 平成25年度事業内容	h. 平成24年度事業実績	i. 担当課室等
		学校等におけるESDの導入	ユネスコスクール支援事業 <b>(再掲)</b>	H24	H26	ユネスコスクール加盟校が地域と協働して行うESD活動に対して助成金を交付するとともに、加盟校の実践事例集を作成し、県内全小・中・高等学校及び特別支援学校等に配付(H25予定)する。	平成24年度は6校に活動助成金を交付するとともに、ユネスコスクール研修会(加盟促進のための説明会)を2回(8/7, 8/9)開催した。	教育委員会 生涯学習課
			ESDに関するユネスコ世界会議開催支援準備(子ども会議の開催準備) <b>(再掲)</b>	H25	H26	ESDユネスコ世界会議の開催に併せ、持続可能な社会づくりの担い手である子どもが主体となる「子ども会議」の開催に向け、県内におけるユネスコスクールの取組の活性化や拡大を図るため、ユネスコスクールの取組を子どもたちが発表する子どもフォーラムを開催する。	-	環境部 環境政策課 ESD会議支援室
3 連携・協働の強化	(1) 協働取組のガイドラインづくり	協働のガイドラインづくり	愛知県環境教育等推進協議会の開催 <b>(再掲)</b>	H24	継続中	愛知県環境教育等推進協議会において、各主体が連携・協働する際のガイドラインを作成し、環境学習の連携・協働を推進する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催した後、環境学習の連携・協働の強化を盛り込んだ愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課
			あいち協働ルールブック2004に基づく「NPOと行政の協働に関する実務者会議」の開催	H16	継続中	「あいち協働ルールブック2004」を全国に先駆けて発行し、全庁的なNPOとの協働促進を図っている。それに基づきNPOと行政の継続的な協議・検討を行う「NPOと行政の協働に関する実務者会議」を開催する。	「あいち協働ルールブック2004」を全国に先駆けて発行し、全庁的なNPOとの協働促進を図っている。それに基づきNPOと行政の継続的な協議・検討を行う「NPOと行政の協働に関する実務者会議」を開催した。(平成24年度 4回)	県民生活部 社会活動推進課
		各主体間の協働取組の促進	愛知県環境教育等推進協議会の開催 <b>(再掲)</b>	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進のため、目標設定や進捗管理を行うとともに、構成員である各主体に対し、環境学習の推進等を要請する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催した後、環境学習の連携・協働の強化を盛り込んだ愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課
			NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催	H16	継続中	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催する。	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催した。(平成24年度4回 参加者延べ79名)	県民生活部 社会活動推進課
		行政間の連携強化	愛知県環境教育等推進協議会の開催 <b>(再掲)</b>	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進のため、協議会において構成員である市町村に対し、環境学習の推進等を要請する。	各主体からなる愛知県環境教育等推進協議会を設置し、協議会を3回、ワーキンググループを4回開催した後、環境学習の連携・協働の強化を盛り込んだ愛知県環境学習等行動計画を策定した。	環境部 環境活動推進課
		県内部の連携強化	愛知県環境教育等推進協議会の開催 <b>(再掲)</b>	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進のために設置した庁内連絡会議をととして、環境学習の推進等を要請する。	愛知県環境学習等行動計画の推進のために設置した庁内連絡会議をととして、環境学習の推進等を要請した。	環境部 環境活動推進課
	(2) 連携・協働機能の充実	ア 情報提供機能の充実 「あいち環境学習情報ライブラリー」等の充実	あいち環境学習情報ライブラリーの運用 <b>(再掲)</b>	H18	継続中	環境学習、人材及び活動の場、NPO団体に関する情報を収集し、あいち環境学習情報ライブラリーを充実させ、それを活用して広く県民に発信する。	環境学習、人材及び活動の場、NPO団体に関する情報を収集し、あいち環境学習情報ライブラリーを充実させ、それを活用して広く県民に発信した。	環境部 環境活動推進課
			生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営 <b>(再掲)</b>	H17	継続中	あいち環境学習情報ライブラリーと連携・協力し、生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。	公開講座やイベントなど県民の学習(環境学習を含む)に関わる様々な情報の提供を行った。	教育委員会 生涯学習課
			環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト <b>(再掲)</b>	H23	継続中	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介する	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介した。〔環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト〕への登録数:168社)	環境部 環境政策課
		イ 調整機能の充実 環境学習のコーディネーターの設置等	環境学習コーディネーターの設置 <b>(再掲)</b>	H25	継続中	事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働して環境学習に取り組めるよう、環境学習に関する相談や各主体間の調整を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置するとともに、新たなコーディネーターを育成する。	-	環境部 環境活動推進課
			生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座 <b>(再掲)</b>	H20	継続中	ボランティアコーディネーターに関する知識・技術を習得したコーディネーターの育成をすることで、環境学習等の活動を促進する。	ボランティアコーディネーターの活動についての講義、体験発表の(ほか)、人間関係づくりに関わるワークショップを行った。(平成24年度 3日間開催、参加者数36名)	教育委員会 生涯学習課
		ウ 交流の場の充実 「愛知県環境教育等推進協議会」の開催等	愛知県環境教育等推進協議会の開催 <b>(再掲)</b>	H24	継続中	愛知県環境学習等行動計画の推進のため、協議会において構成員である市町村に対し、環境学習の推進等を要請する。	愛知県環境学習等行動計画の策定・推進のため、協議会において構成員である市町村に対し、環境学習の推進等を要請した。	環境部 環境活動推進課
		愛知県環境学習施設等連絡協議会 <b>(再掲)</b>	H18	継続中	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(平成19年度設置)において、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(平成19年度設置)において、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化した。	環境部 環境活動推進課	